

林真理子

人生は
母シヨート



awan
人気連載
最新刊

← 試し読み

か 酸いも甘いも噛み分けて

おしゃれはあきらめない

TAKE FREE

マガジナル

1

最近ほみんな雑誌をタブレットで見るといいが、私にはムリ。コミックまでだ。特にファッション雑誌は、絶対に紙で読みたい。見たい。

私のところには、毎月、毎週何冊かの女性誌が送られてくるが、いわゆる高級ファッション雑誌を眺めている時は、本当に幸せ。が、時々、ムツと驚くことがある。某雑誌で、黒のタートルネック特集をしていたが、十万円代はあたり前で、二十数万円のものがあるではないか。ニットですよ。ニットで二十数万つて、いったいどういうことなんだろうか。

私なんかこのあいだ、高級ブランドの黒ニットを虫にやられていて絶叫したことがある。ニットは所詮はかない命。それなのに二十数万円を費やすことはないはず……。私はペラペラとページをめくって行く。Pコートの特集ページも素敵。Pコートとパンツで、こんな風に組み合わせるのね。ふむ、ふむ……。そしていつも出す結論は、

「プロポーションよければ、何だって似合う。カッコいい」

ということ。が、あまりにも詮ないことなので、自分で取り入れられることをいろいろ考えるわけ。

今年の秋、ジルサンダーでオーバーサイズのジャケットを買ったことを、既にお話したと思う。が、これは失敗だったとすぐに悟った。オーバーサイズのジャケット、ページュのものは寅さんルック、と呼ばれるが、これはオバさんが着るとどうなるか。ただの大きな物体になるだけ。「ハヤシさん、お店に行って直してもらったらどうですか、肩のところ」



3

2

秘書は言い、担当の店員さんに聞いたら、「いつでも持ってきてください」とのこと。しかし私は考えた。ジャケットは肩が命である。それをいじくっていいのだろうか……。

ファッション誌に戻る。

「今年のラインを決める」

という特集があった。それを見ると、モデルさんがオーバーサイズのジャケットの肩をただけ、ラフに羽織っていた。そうか、前のボタンをとめていたから、肩のラインが目立ったのか。ということ、今朝、グレイのニット、黒のタイトスカートに合わせて着てみた。確かに「寅さんオバさん」からは遠くなった。今年の冬、愛用することにしてしよう。

ところでこの四ヶ月、いろいろなことがあり自分のケアが出来なかった。エステも何回キャンセルしたろうか。ジムに行ったのはたった一回だけ。食べるだけが楽しみになり、うちでもらいものお菓子や果物を食べていた。友人が時々、レストランやお菓子の個室に誘ってくれた。人目につかないように。小さな焼き鳥屋を貸し切りしてくれたことも。そこでむしゃむしゃ。

その結果、ダイエツトからは遠ざかり、顔がひとまわり大きくなったような。テレビで私の顔を見たへアメイクさんが言った。

「マリコさん、顔がむくんでる。ストレスですっかり面変わりしている」

やっぱりそうか。なんとか努力して、少しはマシになりたいものである。そのためにも女子力を上げなくてはならない。

女子力がいばん上がるのは、もちろん恋愛であるが、このトシでヒトツマの私には到底無理な話。

そうかといって、ことさら推したい芸能人もいない。

そうならば、やっぱりおしゃれ。洋服を買うことでしょう。

シヨップに行くのが私は大好き。サイズの着られないものがたくさんあったり、初めての店で冷たくされても、やっぱり洋服を見てあれこれ選ぶのは、本当に楽しい時間。

気持ちがぐーんと上がっていくのがわかる。

ちょっと前だと着物の展示会に行った時には、アドレナリンが最高値まで上がった。美しい着物見てぐーんと上がり、値段見てまたさらに上がり、心臓がドキドキバクバク。

「こんな高いのも無理。でも絶対に欲しい。今度、あの印税入ってくるし、なんとかなる。なんとかなる」このまま倒れるのではないかと思うくらい興奮した。しかしあれはもう遠い日になりつつある。今の私が着物を買うのは、当分は無理でしょう。

せめて洋服はいっぱい買いましょうと、私はいくつかのバーゲンに行った。

あるところで、ものすごく可愛いニットを発見。光るピンクやブルーの糸で編まれたニットである。可愛い、なんてもんじゃない。なんとこの素材のイブニングドレスもあるが、見るからに細い。せめて短

いニット、と思っかぶつてみたら自分で大笑い。なんかハロウィーンの仮装みたいになってしまったのだ。別のブランドで、紙のように薄い革のジャケットを発見。肩のところがかすかに破れていて七割引き

になっていた。

このくらい、どうということはないと購入。次の日さっそく羽織る。やや力を入れて裾をひっぱったら、わけなく裂けた。もうへこみました。こんなありだろうか。

うんと稼いで自分に貢ぐ。
なりたい自分が明確にそこに
いるんだもの。これが私の生きる道。
〔たまには冒険〕貢ぐのは、自分！

美人は努力すればそこそこの線までいく。
魅力ある女には、かなりの確率でなれる。

が、ゴージャスな女、

というのとは

とてもむずかしい。

〔美女入門PART3〕そうよ、ワタシはゴージャスな女

ああ、今度生まれてくる時は
23センチの足に
なりたくないなあ。

〔あした何着よう〕おしやれの代償

至福の時って
思い出になっても甘い。

それを飴のように

取り出して時々なめる。

するとまた幸せになれる。

〔いいこと考えた！〕シアワセ・フォーエバー

シリーズ累計
200万部超！
「美女入門」より

マリコ 金言集

私は野心を持った女の子が
大好きだ。ただしこれには、ありきたりの
小細工をつかわないこと、という条件がつく。
〔美女入門〕野心というもの

いいお花屋さんを教え合おうって、
ヘアサロンやネイルサロンを知るぐらい
大切なことである。〔女の偏差値〕パンダのアンパン、花になる

そう、ビビツときたものに出会うなんて
めったにないんだから、
すぐに自分のものにしなくて
はならない。恋人もね。
〔人生は母ショート〕ビビツときたの

春が近づくと、
新しい口紅が
欲しくなる。
〔美女ステイホーム〕シャネルリップの高揚感

健康な物欲は、人生にとっても必要なこと。
欲しいものは出来る限り手に入れよう。

あきらめることに慣れていくと、
つまらない人間になっていく。

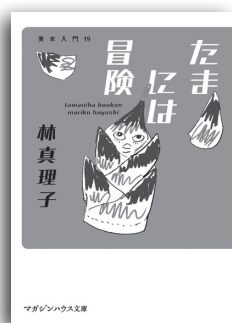
〔人生は母ショート〕さっばっさいとしのケリ

最新刊 /



人生は母ショート
美女入門22

1540円



たまには冒険
美女入門19

748円

マガジハウス